

## 平成30年度千葉市あんしんケアセンター運営事業実績について

## 1 総合相談事業

【表1 総合相談事業】 ※ ( ) は相談件数割合

期 間		平成28年度	平成29年度	平成30年度	対前年度比
項 目					
相談件数合計 (件)		40,400	53,221	62,890	18.2% <sup>↑</sup>
相談者延人数 (人)		29,039	38,300	41,248	7.7% <sup>↑</sup>
訪問延件数 (件)		7,671	10,284	10,940	6.4% <sup>↑</sup>
総合相談内容別件数【重複】	介護保険制度	17,685 (43.8%)	21,656 (40.7%)	25,024 (39.8%)	15.6% <sup>↑</sup>
	認知症等	4,639 (11.5%)	5,951 (11.2%)	7,279 (11.6%)	22.3% <sup>↑</sup>
	医療・保健	3,468 (8.6%)	4,692 (8.8%)	6,063 (9.6%)	29.2% <sup>↑</sup>
	施設入所	2,551 (6.3%)	3,053 (5.7%)	3,655 (5.8%)	19.7% <sup>↑</sup>
	ケアマネ支援	1,504 (3.7%)	1,730 (3.3%)	1,964 (3.1%)	13.5% <sup>↑</sup>
	保健福祉制度	1,566 (3.9%)	1,672 (3.1%)	1,635 (2.6%)	2.2% <sup>↓</sup>
	成年後見	941 (2.3%)	1,007 (1.9%)	1,196 (1.9%)	18.8% <sup>↑</sup>
	虐待(疑いを含む)	865 (2.1%)	1,217 (2.3%)	1,050 (1.7%)	13.7% <sup>↓</sup>
	個人の悩み事	—	2,227 (4.2%)	2,550 (4.0%)	14.5% <sup>↑</sup>
	安否確認(見守り)	—	2,070 (3.9%)	2,921 (4.6%)	41.1% <sup>↑</sup>
	経済的問題	—	1,493 (2.8%)	2,013 (3.2%)	34.8% <sup>↑</sup>
	通いの場、地域資源	—	1,074 (2.0%)	1,231 (2.0%)	14.6% <sup>↑</sup>
	家族の問題	—	1,063 (2.0%)	1,572 (2.5%)	47.9% <sup>↑</sup>
	住居・転居関係	—	892 (1.7%)	1,129 (1.8%)	26.6% <sup>↑</sup>
	エンディングサポート	—	—	192 (0.3%)	—
	その他	7,181 (17.8%)	3,424 (6.4%)	3,416 (5.4%)	0.2% <sup>↓</sup>

表1のとおり、30年度の相談者延人数は41,248人と、29年度の38,300人と比べ2,948人増え、対前年比7.7%の増加となっている。

相談件数は62,890件と9,669件増え、対前年比18.2%の増加であり、高齢者の自宅を訪問して対応した件数は、10,940件と29年度の10,284件と比べ656件増え、対前年比6.4%の増加となっている。

相談内容別では、「介護保険制度に関すること(25,024件)」が総合相談全体の約4割を占め、続いて「認知症等に関すること(7,279件)」、「医療・保健に関すること(6,063件)」、「施設入所に関すること(3,655件)」となっている。

30年度において、「認知症等に関すること」の相談件数が2番目に多く、相談内容としては、認知症の方の介護に関する相談や、認知症の方の受診に関する相談等があげられる。

また、29年度からは、従来、その他の項目に計上されていた「個人の悩み事」、「安否確認(見守り)」、「経済的問題」、「地域の通いの場・地域資源の情報提供」、「家族の問題」及び「住居・転居に関すること」を項目として追加している。

加えて、30年度からは「エンディングサポート」を項目として追加している。

## 2 一般介護予防事業

【表2 一般介護予防事業実施状況】

年度 項目	平成28年度 単位：(人)	平成29年度 単位：(人)	平成30年度 単位：(人)	対前年度比
介護予防普及啓発事業	39,082	38,325	42,965	12.1% ↑
地域介護予防活動支援	21,088	26,484	32,099	21.2% ↑

表2のとおり、介護予防普及啓発事業(認知症サポーター養成講座、講演会、ミニ講座、相談会等)の実績としては、30年度は42,965人と、29年度の38,325人と比べ4,640人増え、対前年比12.1%の増加となっている。

地域介護予防活動支援事業(体操教室、ボランティア育成講座の講師、サークル、サロン活動支援・助言等)の実績としては、30年度は、32,099人と、29年度の26,484人と比べ5,615人増えており、対前年比21.2%の増加となっている。

### 3 指定介護予防支援事業

【表3 介護予防支援プラン作成件数】

	平成28年度 単位：(件)	平成29年度 単位：(件)	平成30年度 単位：(件)	対前年度比
センター作成プラン数	5,159	3,731	3,078	17.5% ↓
委託事業所作成プラン数	8,921	5,339	4,887	8.5% ↓
合計	14,080	9,070	7,965	12.2% ↓

表3のとおり、要支援1・2の方で、介護予防支援費に係るケアプラン（①介護予防給付サービスのみ、または②介護予防給付サービスかつ総合事業サービス〔一般介護予防事業を除く〕を利用する人に対して作成するケアプラン）の件数は、合計で7,965件となっており、29年度9,070件に対し、30年度は12.2%の減少となった。

減少の要因は、従来の訪問介護・通所介護サービスが、介護予防給付サービスから総合事業サービスへと移行したことに伴って、介護予防ケアマネジメントプラン作成へと移行したことによる。

### 4 第1号介護予防支援事業（介護予防ケアマネジメント）

	平成28年度 単位：(件)	平成29年度 単位：(件)	平成30年度 単位：(件)	対前年度比
センター作成プラン数	—	2,015	3,367	67.1% ↑
委託事業所作成プラン数	—	2,613	4,745	81.6% ↑
合計	—	4,628	8,112	75.3% ↑

【表4 介護予防ケアマネジメントプラン作成件数】

表4について、29年度からの総合事業開始に伴い、「要支援1・2」の方及び基本チェックリストで該当者となった「事業対象者」の中で、総合事業のサービスのみを利用する人に対して作成した「介護予防ケアマネジメントプラン」の件数は、合計で8,112件となった。

なお、介護予防支援に係るケアプラン作成件数と介護予防ケアマネジメントに係るケアプラン作成件数の割合については、49.5%と50.5%となった。

【表5 要支援認定者数、事業対象者数とサービス受給者数】

	平成28年度 単位：(人)	平成29年度 単位：(人)	平成30年度 単位：(人)	対前年度比
要支援1・2認定者数	10,424	10,976	11,692	6.5%↑
介護予防給付サービス受給者数	5,968	5,226	3,117	40.4%↓
総合事業サービス受給者数	—	842	4,820	472.4%↑

※各年度9月分の介護保険事業状況報告等から計上

表5は、30年度9月時点のサービス受給資格者である要支援1・2の認定者数と、介護予防給付サービスおよび総合事業サービスの受給者数を記載している。

介護予防給付サービス受給者数が減少し、総合事業サービス受給数の対前年度比が、著しく高くなっているが、これは、平成29年4月から総合事業が開始し、1年かけて介護予防給付の一部が総合事業へと移行したことによる影響である（平成29年9月時点では移行途中の人数を、平成30年9月時点では移行が完了後の人数を記載している）。

なお、介護予防給付サービス受給者数と総合事業サービス受給者数は一部重複している。

## 5 地域ケア会議

【表6 地域ケア会議実施状況（機能別の分類）】

項目	年度	平成28年度 単位：(回)	平成29年度 単位：(回)	平成30年度 単位：(回)	対前年度比
		合計	合計	合計	
個別課題の解決		69	32	116	262.5%↑
地域づくり・地域課題の発見・ネットワーク構築等		188	228	150	34.2%↓
合計		257	260	266	2.3%↑

地域ケア会議は、個別事例の検討、地域課題の分析及び解決、多職種連携の推進を目的として実施するほか、29年度は自立支援を強化することを目的とした会議の模擬実施を3回実施し、30年度は12回実施した。

また、表6のとおり、あんしんケアセンターによる開催は、30年度は266回となり、29年度の260回と比べ2.3%増で、ほぼ横ばいとなっている。

機能別の内訳については、「個別課題の解決」の割合が前年度比で262.5%増加し、「地域づくり・地域課題の発見・ネットワーク構築等」の割合は前年度比で34.2%減少となった。

なお、上記件数には、複数のあんしんケアセンターが合同で開催した件数も一部含まれている。

## 6 各種会議等の開催について（本市主催分）

【表7 平成30年度会議等開催状況】

会議等名称	開催数	内容
「あんしんケアセンター 管理者会議」	4回	各あんしんケアセンターの管理者を集め、センター30か所（出張所2か所含む）の円滑な運営及び平準化を図るため、情報共有や議案検討を行った。
「事例から考える、精神疾患を抱える高齢者とその家族への支援」（研修会）	1回 （28人受講）	精神疾患を抱える高齢者やその家族が住み慣れた地域で生活するための支援方法や、あんしんケアセンターが日頃支援している事例を通して、すぐに実践できる支援のポイントを習得することを目的として行った。
「そうだったのか！ ！今さら聞けないファシリテーションの『ポイント』」（研修会）	1回 （32人受講）	効果的な会議の進め方のコツやポイントについての理解を深めることを目的として行った。
「千葉県エンディングサポート事業研修」（研修会）	1回 （44人受講）	地域包括ケアにおける終活支援の必要性や終活に関する相談支援に必要な知識の向上を目的として行った。
「あんしんケアセンター運営会議」※区ごとに実施	45回	各区において、区ごとの支援担当職員が、あんしんケアセンター管理者を集め、毎月の活動実績及び予定についての報告等を行った。 本会議では報告のほか、センターの課題や取り組みについての情報交換や協議を行い、共通の課題抽出や解決に向けた検討を行った（地域包括ケア推進課職員同席）。
「あんしんケアセンター支援担当職員会議」※6区合同で実施	6回	6区合同で、あんしんケアセンターへの支援活動の報告及び課題の検討、情報交換を行った。

表7のとおり、あんしんケアセンター職員の資質向上と平準化及び各関係機関との連携を図るため、各種会議を開催した。